

日 本から約3週間かけて、地球の約半周の距離を移動して到着した南極昭和基地。僕たちは、この閉鎖された極寒の地で平成28年12月～平成30年3月までの1年4か月にわたり滞在し、任務を遂行しました。

まず、皆さんは「なぜ、住宅メーカーから南極へ？」って思われますよね。

実は南極にある昭和基地には、1968年に建設された第10居住棟以来、ミサワホームは、今までに36棟もの建築に携わってきました。同社ではその後も、研究棟などいくつかの建物を作るとともに、定期的に建物の修理やメンテナンスなどのために観測隊員となるべく、技術者を国立極地研究所に出向しているのです。

今回の僕の主な役割は設営部門の建築・土木担当として、基地の建物や関連施設の建設、修繕、維持管理をすること。

- ・建物の維持管理・メンテナンス
- ・基本観測棟の建築
- ・雪上車で引く張る木製そりの修理
- ・女性専用エリアの改築
- ・物資の輸送 ・除雪 など

その中で、最大の任務は、基本観測棟を建てること。この工事は、家を建てるのと同じで、工場で作成したパーツを現地で人力やクレーンを使ったりして組み立てていきます。この施設では今後、気象・地学・環境科学・電離層の研究がされます。

南極は、近年まで未踏の地として人が踏み入れることなく、有史以前の地球の姿が残されている場所。地球環境の過去



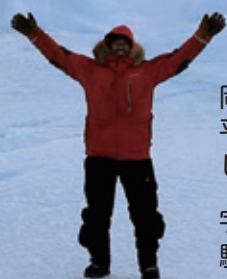
一期一会

第58次南極観測隊員

岡本裕司さん (角林工務店・大宇陀)

岡本さんは、生まれも育ちも榛原の大工さん。平成28年7月から、第58次日本南極地域観測隊の越冬隊員として所属しているミサワホームグループから参加されました。

宇陀市初の南極隊員 岡本さんは遠く離れた未開の極寒の地で、どんな体験をされたのでしょうか？今回は、その一端をお話しいただきました。



第58次南極地域観測隊 (越冬隊) 活動日程

冬期	夏期
9月1～6日 昭和基地から離れた観測所へ野外遠征	11月27日 観測隊員 日本を出発 飛行機でオーストラリアへ
6月20～23日 南極全土でミッドウインターフエスティバル※開催	12月2日 オーストラリア・フリーマントルから「しらせ」で南極大陸に向かって出発
4月22日 基地内の新女性専用エリア改修竣工式	12月8日 しらせ船上で初氷山を確認
平成29年2月1日 第57次越冬隊と業務交代	12月23日 昭和基地に到着
12月25日 基本観測棟組立工事開始	

と未来を研究する場として世界の様々な国が基地を設置し、研究調査を行っています。

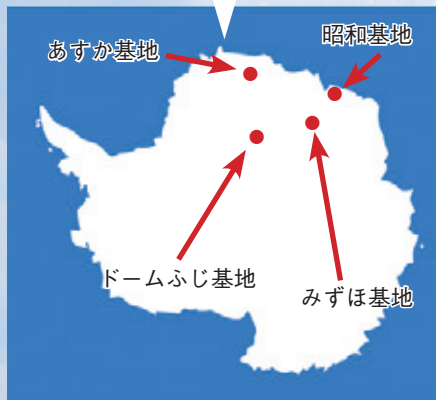
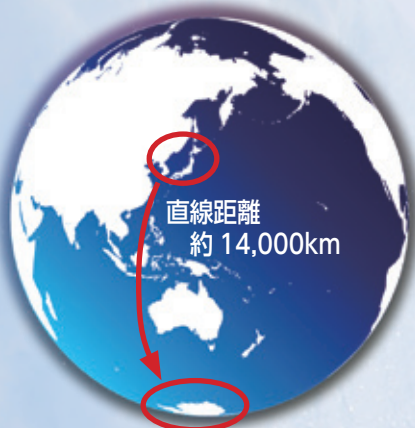
今回の第58次越冬隊は33人、うち女性は過去最多となる6人の参加となりました。隊員は各業種・部門から1～2人が参加し、オーロラや地学、電気、生態学の研究者から、お医者さん、調理師やインターネット通信技術者、大工、車の整備工、電気水道工事、山岳ガイドまで、様々なメンバーで構成されています。

僕たちは、隊員それぞれが日本の代表として、各々のプロジェクトに取り組みます。僕たちは自分の役割だけでなく、チーム一丸となって、みんなの任務の成功を目指しました。

これまでの日常とは全く異なる極限の環境。そこで僕が実感したのは、「仲間間の大切さ」そして「挑戦する大切さ」でした。

南極って どんなところ？

広さは、日本の本州の約 37 倍、
世界で 5 番目に大きい大陸。
日本との時差は 6 時間。
僕がいた頃は、夏で - 13℃～5℃。
冬は、- 38℃～- 10℃。
気温が低過ぎて、屋外ではウイルスがいないんだ。だから風邪の心配はないよ。
時期に関係なくブリザードがあり、
その時の風速は、なんと秒速 60 m !

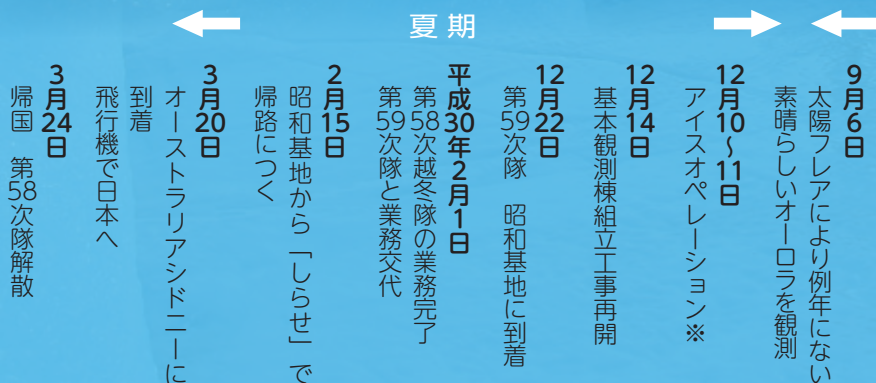


隊員の 一日って？

ボクのある日の 活動スケジュール

- 6:00 起床
- 6:30 朝食
- 8:00 設営班ミーティング
各業務開始
- 12:00 昼食
- 13:00 業務再開
- 18:00 夕食
- 19:45 全体ミーティング
- 20:00 自由時間
- 23:00 就寝

■写真提供・取材協力
国立極地研究所
(株)ミサワホーム総合研究所



※ミッドウインターフェスティバルとアイスオペレーションは次のページで紹介するよ！

ミサワホームグループの南極観測隊経験者は、それぞれキャラクターになっているよ！僕はカラフト犬のジロ！

今も前隊員と一緒に南極クラスの先生として、各地で講演活動もしているよ！



南極ジロの難局物語

～〔祝〕南極観測60周年～



国立極地研究所
南極観測 HP



南極の歩き方
南極×ミサワホーム HP



南極×ミサワホーム HP
南極ジロの難局物語
(僕の南極活動ブログです)

夏はこんな感じ♪

昭和基地



しらせから見た
南極大陸！



南極観測船しらせ



平成 29 年には、母校の榛原小学校で、南極と学校とを衛星回線でつないで「南極教室」をしたよ！



基本観測棟

とうとう上棟式！
建物の外観が完成。
縁起を担いで上から
お菓子をまいたよ！！



大工だけでなく、お医者さんもコックさんも、みんなで協力して基本観測棟を組み立てたんだ。

この作業も、隊員みんなの思い出に残れば、と願って安全確保に心がけたよ！



アイスオペレーション！



氷山まで、みんなへのお土産「南極の氷」を取りに行ったよ!! 全部で4t!



この人は湖に潜って生き物を研究する人
とても冷たいので入るのにはすごい勇気がいるよ!



水質を調査!

野外遠征！ 基地を離れて5泊6日の長旅に！



MWF (ミッド・ウインター・フェスティバル)

▶ MWF は全世界の観測隊共通のお祭り
極夜の期間中、隊員が精神的に疲れないようにと、始められたもので、出し物大会やカラオケなどみんなが工夫を凝らします。

この日はフレンチのフルコース！



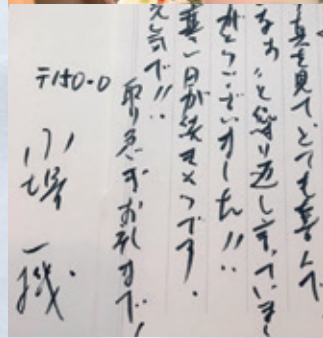
いろんなアイデアで食材を最後まで使い切って、ゴミを出さないよ!

コックさんは超一流

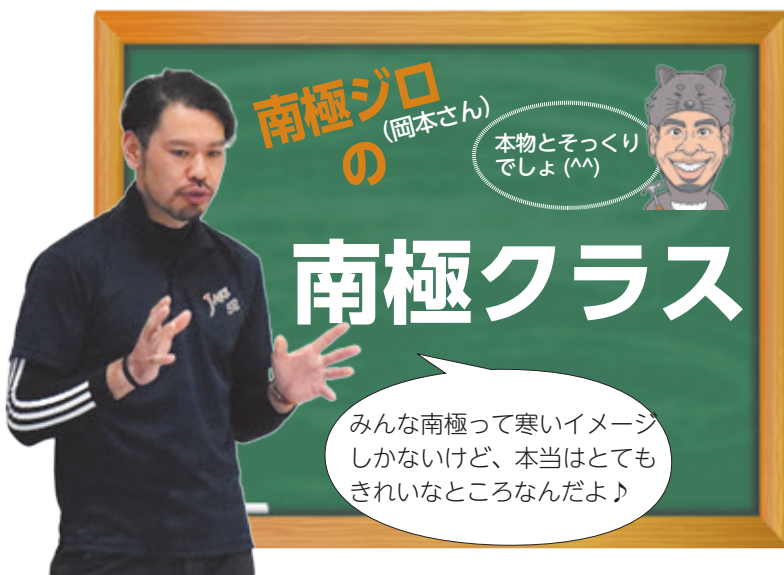


時には、懐石料理やフルコースがでることも! でも普段は、みんなと同じ食事だよ!

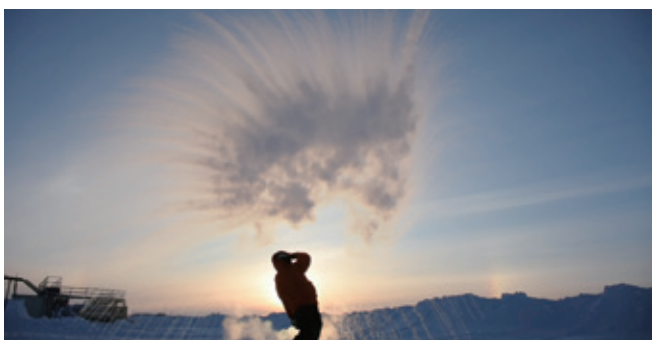
恒例! 氷河での流しそうめん



この発案者は、元隊員でタレント小堺一機さんのお父さん。
「今年も流しそうめんしました」と写真を送ったら、小堺さんからお手紙をいただきました (^^)



Q5 南極でお湯をまくと どうなる？



A 南極でお湯をまくと、あまりに寒いのでお湯が一瞬に粒子になって凍る現象。隊員の間では「お湯花火」っていうんだよ。

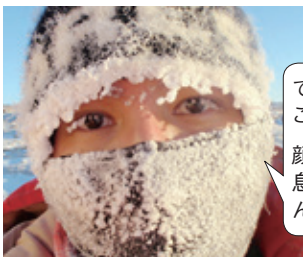
Q6 カップラーメンはどうなる？

A カップラーメンも外に5分ほど置いておくと、麺が立っただまま凍るんだ！



Q7 南極ではどんな服で 作業するの？

A お布団と一緒に、自分の体温で温かなような素材で作られていて、意外に軽くて動きやすいよ！



でも、-33℃の時はこんな感じ。
顔の部分は自分の息で凍ってしまうんだ！



Q1 白夜 (びやくや) 極夜 (きょくや) って どんなの？



白夜 (夏：12月～1月)

A これは地軸（南極と北極とを結ぶ軸）が太陽に対して傾いているため起こるんだ。

白夜では太陽が沈みそうで沈まない、反対に極夜では太陽が昇りそうで昇らない。

そんな日がそれぞれ一週間以上続くんだ！



極夜 (冬：6月～7月上旬)

Q2 ブリザードって何のこと？

A 猛吹雪のこと。ホワイトアウトといって、1m先も見えないこともあるよ。命綱は絶対必要！



Q3 南極にはシロクマがいるの？

A 残念ながらシロクマは北極圏の動物。僕が見たのはアザラシやペンギン、カモメたち。南極では陸上の天敵がないので、みんなのんびりしているよ (^^)



Q4 南極の氷ってどんなの？



水の中で数万年前の空気が見える

A 南極の氷には、何万年前の空気も一緒に閉じ込められているんだ！



この挑戦で学んだことは

一期一会

まず手を挙げることに

僕は、子どもが生まれた時から「父親として何か成し遂げる姿を見せたい」「子どもにとって自慢の父親になりたい」と思っていました。その中で仕事を通じて南極派遣の募集があり、僕は強くひかれました。それは僕にとって、一生に一度、今しかできない最大の挑戦だと強く思ったんです。

(いちいちえ)

何事も一生に一度の出会いであるということ。心を心得て、互いに誠意を尽くすこと。

もちろん、全てが初めてで未知のこと。「うまくやっていけるだろうか」というプレッシャーや、「ミスをすれば命に関わる」と不安も恐怖もありました。

今、南極先生として多くの人の前で語る機会を与えていただいています。そこで子どもたちに伝えているのが「何事にも手を挙げて挑戦してほしい」とのこと。

そのおかげで僕は、いろんな経験ができました。

「オーロラよかった？景色がきれいだった？」とよく聞かれますが、それ以上に「人との出会い」が僕にとっての財産となりました。観測隊の仲間、これまでの生活では決して知り合えない人たちで、今では、僕にとっての人生の宝物です。

一期一会

この挑戦にあたり、準備段階から帰国後も、本当にたくさんの方と出会うことができました。

一時的な関わりかもしれませんが、その瞬間、そしてその出会いを大事

にしていきたいと思います。

それは大工としても同じ。お客さんとの出会いも一期一会。これから、人生のステージとなる家を一緒に建てていくんです。これから他の人にとって、自分との出会いを感謝してもらえるように努めていきたいです。

家族への感謝

何より心残りだったのが、日本に残した家族のこと。小さい子どもと妻を残して家を離れることは本当につらい気持ちでした。

うれしいことに、南極では研究用のインターネット環境があったので、時折メールで家族と会話ができました。日本との時差が6時間ですから、娘の起床時間に合わせて「お

はよう。いつてらっしゃい」というメールができる時間が本当に楽しみでした。

でも、家族に「南極に行きたい」と気持ちを打ち明ける時は、ずいぶん悩みましたね。

最初はつきり「ダメー」といわれると思っていたんですが、その時に妻は、自分が「ダメー」というと、僕がこの夢をあきらめることを分かってたのでしょう。本当は、自分も不安でいっぱいなのに「いいよ、がんばってきて」と笑顔で言ってくれました。この時は本当にうれしかった。

羽田空港にて16か月ぶりに家族と再会！
泣けちゃったなあ～

世代も職種も全く違う仲間たち。第58次隊は、みんな家族！



特集

市政トピックス

うだちから

まちのわだい

みんなで子育て

病院・ウェルネス

お知らせ

掲示板

うだちゃん